

# 第18回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会県予選会要項

1 日 時 令和8年2月23日（月・祝）

受 付 午前8時30分～9時00分

竹刀計量 8時30分～9時15分

抽 選 9時15分～

開 会 9時30分

2 場 所

城南総合スポーツセンター

熊本市南区城南町舞原144-1 電話096-288-7885

3 主 催

一般財団法人熊本県剣道連盟

4 出場選手の資格および予選区分

資 格

(1) 令和7・8年度の熊本県剣道連盟の年会費を納入し、登録会員であること。

(2) 全日本剣道連盟登録者規程に適合している女子

(3) 年齢基準は、大会前日（7月11日）とする。

(4) 高校生および大学生の資格基準は、大会当日とする。

(5) 大学生の場合、出場できる都道府県は、大学生個人が登録している剣道連盟または出身高校の剣道連盟のいずれか1ヶ所とし、違反した者は出場を取り消す。

(6) 監督1人、選手7人とする。ただし、選手は監督を兼ねることができる。

監督は社会体育指導員（初級・中級・上級）いずれかの有資格者とし、選手が監督を兼任することも可とする。（資格基準は大会当日）

(7) 健康であると認められた者。

予選区分

先鋒：高校生（高体連で選考し推薦する）

次鋒：大学生

五将：年齢18歳以上（高校生・大学生を除く）

中堅：年齢30歳以上

三将：年齢30歳以上

副将：年齢40歳以上

大将：年齢50歳以上

※職業は問わない。

5 試合方法

(1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則・同細則および大会要項による。

(2) 出場者6人以上はトーナメントとし、5人以下の場合はリーグ戦とする。

- (3) トーナメント、リーグ戦とも試合は3本勝負とし、試合時間は4分とする。試合時間内に勝負が決しない場合は延長戦を行い、先に1本を取った者を勝ちとする。なお、延長戦に入ってからの試合時間は3分区切りで、勝敗の決するまで継続する。
- (4) リーグ戦の順位決定については、次の順により順位決定する。
- ① 勝ち数の多い者
  - ② 総本数の多い者
  - ③ ①～②が同数の場合は、取られた本数の少ない者
  - ④ ①～③が全て同数の場合は、決定戦を行う
- 決定戦は、1本勝負とし、試合時間は4分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行う。なお、延長に入ってからの試合時間は3分区切りで、勝敗の決するまで継続する。
- (5) 各部門優勝者を代表選手とし、2位の者を補員とする。
- (6) 決定選手の登録は年齢順とする。

## 6 剣道用具の取り扱いについて

本予選会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下のとおりとする。

- (1) 出場選手は、予選会で使用する剣道用具について、「剣道用具確認証」を提出すること。（「1.1 安全管理」参照）
- (2) 竹刀については次の事項を遵守すること。計量・検査を必ず受けること。
- 竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端対辺直徑および先端より8cmのちくとう部対角直徑値）は、表1、表2および図のとおりとする。
  - ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。
- (3) 小手については次の事項を遵守すること。
- 小手は、こぶしと前腕（肘から手首の最長部）の1／2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な衝撃緩衝能力がある。
  - 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。
- (4) 面については次の事項を遵守すること。
- 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (5) 剣道着については次の事項を遵守すること。
- 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。（構えたときに肘関節が隠れること）

## 7 竹刀の計量、検査について

- (1) 竹刀の計量は、予選会当日必ず受けること。
- (2) 竹刀の長さ、重さ、太さは次のとおりとする。

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ

長さ (全長)	重さ	太さ	
		先端部最小直径	ちくとう最小直径
120センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上

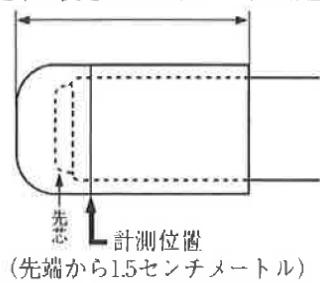
表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ

	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大刀	114センチメートル以下	400グラム以上	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上
小刀	62センチメートル以下	250～280グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

図 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

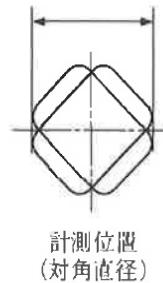
<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>

計測位置  
(先端から8センチメートル)



## 8 組合せ

受付終了後に抽選を行う

## 9 参加料

1,500円（1日傷害保険料含む）

## 10 申込方法

出場希望者は、所定の申込書に記入し、参加料を添えて所属加盟団体事務局へ申込むこと。

加盟団体事務局は出場者をとりまとめのうえ、県剣連事務局へ提出すること。

申込締切日 加盟団体事務局 令和8年2月13日（金）

熊本県剣道連盟 令和8年2月17日（火）

※ 締切後は、一切受付ないので注意すること

## 11 安全管理

出場者は、各自十分健康管理に留意して予選会に出場すること。

出場者は、予選会での使用用具を事前に確認し、別紙「剣道用具確認書」を、竹刀計量・検査時に提出すること。

出場者には主催者側で1日傷害保険に加入するが、傷害等発生の場合は当連盟が加入している保険の範囲内で対応する。

## 12 個人情報保護法への対応

申込書に記載される個人情報（称号・段位、漢字氏名、カナ氏名、年齢、生年月日、住所、電話番号、職業等）は、熊本県剣道連盟が実施する本予選会運営のために利用する。

なお、氏名、年齢、所属等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせて公表媒体（掲示用紙、ホームページ等）に公表することがある。

更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

## 13 その他の

- (1) 申込期限、受付時間は厳守すること
- (2) 予選会当日、受付時間終了までに受付をしなかった者は棄権したものとみなす。
- (3) 予選会出場者は、予選会で使用する剣道用具について、「剣道用具確認票」を提出すること。
- (4) 選手は、全日本剣道連盟「感染症予防ガイドライン」（全剣連ガイドライン）に従う。面をつけて剣道を行う際には、飛沫防止等のため、口の部分を覆うシールドもしくは、面マスクを着用する。
- (5) 感染状況により、中止する場合もある。
- (6) 応援者の入館を認めるが、検温、手指の消毒は必ず行うこと。
- (7) 剣道場内での写真及び動画の撮影は、係員以外は禁止する。